

平成29年度守谷市自治会連絡協議会第3回代議員会

○日 時 平成29年11月2日（木）
午後5時00分～午後6時12分

○開催場所 守谷市役所 中会議室

○出席者 ・自治会連絡協議会代議員及び顧問（代議員16名，顧問1名）
・市長
・市民協働推進課職員（3名）

○協議事項

（1）今後のスケジュールについて

・1月中旬～1月下旬を目途に，「第4回代議員会」を開催し，今年度の協議事業の2事業についての協議を行う。3月下旬を目途に「第5回代議員会」を開催し，「第4回代議員会」で協議した内容をまとめ，市に対する提言書（要望書）を作成・提出する。⇒承認

（2）その他

・みずき野支部から敬老会開催について報告された。

○報告事項

（1）将来を見据えた「地域づくり」の提案について

・今後守谷市は，地域ごとの特徴を踏まえて，守谷市の各地域の課題を見据え，地域づくりを進める必要がある。その手段として「まちづくり協議会」の設立を提案するものである。

○意見交換

【意見交換質疑応答要旨】

代議員：今までやってきた地域福祉活動計画実行委員会の活動をきちんと引き継ぐ形にするために，社会福祉協議会や保健福祉部との調整が重要である。みずき野は組織化して既にやっているのですぐに手を挙げられるが，他の5地区は，実行委員会の中に多くの町内会が存在しているおり，組織としてまとめることができずに苦慮しているため，このような活動ができない。その解決策がないまま提案しても同じことになる。

市長：まだ白紙状態のため，皆様のご意見を伺いたい。この提案につい

ては、行政主導では実施したくない。市から「このようにして下さい・してほしい」というものではなく、地域で実施したいことを市に提案していただきたいと考えている。実行委員会を無視するのではなく、膨らませる形でやっていただきたい。庁内・社会福祉協議会との連携はとっていかなければならないと思っている。

代議員：色々意見はあると思うが、この資料は参考としての資料であるので、地域で参考にするのもよいし、参考にしないのも構わないと思う。ただ、参考になるものがなければ、地域でまとめてやっていくには難しいと思う。

代議員：実現にあたっては、防災や防犯など、福祉以外のことも入ってくるため、今の実行委員会がそのまま実施するのは難しいと思うので、実行委員会を拡大するにあたり、みんなが納得できる形にしていきたい。

市長：これからは、今までのような縦割り行政が通用しなくなると考えている。国も地方創生事業として、縦割りではなく横串を刺していくような事業を行っている。縦割り行政を変えていくためには、情報の共有化が最低限必要だと思う。地域主体のまちづくりをしていくなれば、職員はなおさら地域に張り付いていくので、知識を深め、地域のみなさんと情報の共有をしていかなければならない。

代議員：財政状況の悪化と、地域コミュニティの担い手不足を解決するための組織設立だとすると、具体的にどのような状態になることを市は望んでいるのか。どのような最終目標（ビジョン）をもっているのか。

市長：財政状況の悪化は、この組織設立だけで解決できるものではないと考えている。行政改革により無駄なものを削っていく発想である。無駄を省くためには、各地域により要求されたものを提供することが重要であり、地域の合意形成のための組織作りとして提案するものである。これにより一律のサービスではなく、細やかな行政サービスができると考えている。財政状況を改善するというよりは、無駄をなくす発想であり、マイナスをプラスにするのではなく、マイナスを抑えるイメージである。

地域コミュニティの担い手不足についても、これだけで解消できるものではない。若い世代の呼び込み等、その地域ごとで魅力的なまちづくりを考えていただければ、市として地域に対応していきたい。

代議員：企業も同様で、人口減少に対応できる企業は生き残る。守谷市も、今後の現状を認識させ、優先順位を付けることは重要であると思う。

市長：守谷市の財政状況は、近隣他市と比べるとよい方だが、特段余裕があるわけではない。単体で見たときに、自立した財政運営ができるようにしていきたい。今後固定費が増加していく中であっては、さらに無駄を省く財政状況が必要であるので、地域にあったサービスの提供が求められると思う。その要求を地域の総意として、地域ごとに出していただきたいという制度的な提案であることをご理解いただきたい。

【閉会】